



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <https://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 鈴木 康史 TEL 03(3663)3111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	56,861	11.4	3,078	89.9	3,054	△38.5	1,677	△46.6
2019年3月期第2四半期	51,020	△2.7	1,621	△54.8	4,971	△38.6	3,143	△41.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,878百万円 (△39.8%) 2019年3月期第2四半期 3,120百万円 (△46.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	63.90	—
2019年3月期第2四半期	117.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	138,965	93,086	59.8	3,235.92
2019年3月期	139,867	95,063	61.1	3,201.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 83,169百万円 2019年3月期 85,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	7.3	5,100	36.3	5,100	△50.6	2,600	△62.1	99.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	28,333,480株	2019年3月期	28,333,480株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,631,610株	2019年3月期	1,631,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	26,245,255株	2019年3月期2Q	26,702,437株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、「F T Y 720」受取ロイヤリティーの一部収益認識を見合わせた結果、前年同期比減益となりましたが、国内砂糖事業が堅調に推移したこともあり営業利益は前年同期を大きく上回りました。

昨年来行ってきた海外投資ののれん償却負担や、海外粗糖相場低迷によるタイ国関連会社の業績が悪化したことから経常利益は前年を下回りましたが、実態としての営業力を示すEBITDAは62億円を達成し、引き続き安定的なキャッシュ創出力は維持しております。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期初は12セント台でスタートしたのち、圧搾を終了した北半球の潤沢な在庫が伝えられると、11セント前半まで下落しました。その後、12セント台まで回復しましたが、インドの輸出振興政策や主要消費国の需要低迷など需給緩和拡大の報道が相次ぎ、9月中旬には、約1年ぶりとなる10セント半ばまで下落しました。その後、投機資金の流入などから値を戻し、11セント後半で当第2四半期末を迎えました。

販売面では、製菓製パン向けの出荷が好調に推移しましたが、7月初旬の長雨の影響で、飲料ユーザー向けの出荷が振るわず、販売量は前年同期を下回りました。このような状況下、引き続き適正販売価格帯の維持に注力いたしました。コスト面では、物流費や燃料費の上昇、安定操業のための設備更新による減価償却費の増加などがありました。適切な原料糖調達に努めた結果、原料費が改善し、営業利益は前年同期を上回りました。

連結子会社では、生和糖業(株)で天候不順により生産量が減少し、北海道糖業(株)では販売単価が低下し、販売量が減少しましたが、前第3四半期末にSIS' 88 Pte Ltdを連結子会社化したことから増収増益となりました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高は45,978百万円、営業利益は2,319百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期を通じて187円～188円で推移

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 12.53セント 高値 12.82セント 安値 10.68セント 終値 11.92セント

(フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業につきましては、パラチニットはキャンディ向けやその他製菓向けが好調に推移し、パラチノースはスポーツコンセプトが評価され、大手ユーザーの新製品に採用されるなど、営業利益は前年同期を上回りました。

連結子会社では、(株)タイショーテクノスは新工場立ち上げに伴う初期費用発生等により減益となりました。また、ニュートリー(株)は、当期初に譲り受けた流動食事業により増収となりましたが、諸経費の増加により減益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体では、売上高は9,900百万円、営業利益は286百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、岡山市で昨年11月に物流倉庫の賃貸を開始したこと等により売上高・営業利益ともに前年同期を上回り、売上高は981百万円、営業利益は472百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は56,861百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は3,078百万円（前年同期比89.9%増）、経常利益は3,054百万円（前年同期比38.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,677百万円（前年同期比46.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態の変動状況〕

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比901百万円減少し138,965百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比690百万円増加し54,549百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加5,600百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,734百万円等があった一方で、商品及び製品の減少7,910百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比1,591百万円減少し84,416百万円となりました。これは主として、建設仮勘定の増加1,202百万円等があった一方で、建物及び構築物の減少325百万円、機械装置及び運搬具の減少480百万円、のれんの減少434百万円、投資有価証券の減少641百万円、関係会社出資金の減少338百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比1,074百万円増加し45,879百万円となりました。これは主として、未払法人税等の増加920百万円、その他流動負債の増加2,776百万円があった一方で、支払手形及び買掛金の減少912百万円、借入金の減少473百万円、繰延税金負債の減少784百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比1,976百万円減少し93,086百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益1,677百万円、剰余金の配当1,468百万円、自己株式の取得2,304百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表の通りであり変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,232	20,832
受取手形及び売掛金	9,861	10,119
商品及び製品	19,473	11,562
仕掛品	1,835	1,327
原材料及び貯蔵品	4,454	6,189
その他	3,007	4,524
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	53,859	54,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,579	39,889
減価償却累計額	△25,199	△24,834
建物及び構築物(純額)	15,380	15,055
機械装置及び運搬具	83,270	83,774
減価償却累計額	△65,215	△66,200
機械装置及び運搬具(純額)	18,054	17,573
工具、器具及び備品	2,601	2,688
減価償却累計額	△2,088	△2,135
工具、器具及び備品(純額)	513	552
土地	18,436	18,148
リース資産	912	915
減価償却累計額	△492	△539
リース資産(純額)	420	375
建設仮勘定	459	1,662
有形固定資産合計	53,265	53,367
無形固定資産		
のれん	5,388	4,953
その他	3,282	3,063
無形固定資産合計	8,670	8,016
投資その他の資産		
投資有価証券	12,786	12,145
関係会社出資金	2,128	1,789
長期貸付金	23	21
退職給付に係る資産	501	637
繰延税金資産	1,008	1,019
その他	7,681	7,471
貸倒引当金	△58	△51
投資その他の資産合計	24,071	23,032
固定資産合計	86,008	84,416
資産合計	139,867	138,965

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,408	8,495
短期借入金	4,850	136
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,120	1,860
リース債務	97	98
未払費用	3,799	3,533
未払法人税等	1,411	2,331
役員賞与引当金	52	20
資産除去債務	108	70
その他	4,588	7,365
流動負債合計	35,437	33,913
固定負債		
長期借入金	2,550	6,050
リース債務	351	300
繰延税金負債	1,589	805
役員退職慰労引当金	268	204
退職給付に係る負債	2,812	2,836
資産除去債務	305	306
その他	1,489	1,463
固定負債合計	9,366	11,965
負債合計	44,804	45,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	79,157	79,366
自己株式	△2,910	△5,215
株主資本合計	84,622	82,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	735	544
繰延ヘッジ損益	36	74
為替換算調整勘定	△99	△137
退職給付に係る調整累計額	180	161
その他の包括利益累計額合計	853	642
非支配株主持分	9,587	9,917
純資産合計	95,063	93,086
負債純資産合計	139,867	138,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	51,020	56,861
売上原価	39,678	43,257
売上総利益	11,342	13,603
販売費及び一般管理費		
配送費	2,477	2,520
給料及び賞与	1,882	2,135
役員賞与引当金繰入額	30	20
退職給付費用	93	85
その他	5,237	5,763
販売費及び一般管理費合計	9,720	10,525
営業利益	1,621	3,078
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	48	86
受取ロイヤリティー	3,934	926
雑収入	119	105
営業外収益合計	4,103	1,119
営業外費用		
支払利息	32	41
固定資産除却損	32	30
設備撤去費	103	116
持分法による投資損失	485	845
雑損失	99	108
営業外費用合計	753	1,143
経常利益	4,971	3,054
特別利益		
投資有価証券売却益	—	147
固定資産処分益	—	14
受取保険金	11	254
持分変動利益	88	—
補助金収入	—	33
特別利益合計	99	450
特別損失		
固定資産圧縮損	9	—
災害による損失	51	—
環境対策費	—	19
特別損失合計	61	19
税金等調整前四半期純利益	5,009	3,485
法人税、住民税及び事業税	1,619	2,080
法人税等調整額	82	△710
法人税等合計	1,702	1,369
四半期純利益	3,306	2,116
非支配株主に帰属する四半期純利益	163	439
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,143	1,677

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,306	2,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△183
繰延ヘッジ損益	30	72
為替換算調整勘定	—	△269
退職給付に係る調整額	△7	△23
持分法適用会社に対する持分相当額	△217	166
その他の包括利益合計	△185	△237
四半期包括利益	3,120	1,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,953	1,466
非支配株主に係る四半期包括利益	167	411

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得を2019年9月25日に完了しました。この自己株式の取得による増加1,000,000株、2,304百万円を四半期連結財務諸表に含んでおります。この取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,304百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が5,215百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,393	9,701	925	51,020	—	51,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	64	20	111	△111	—
計	40,419	9,765	946	51,131	△111	51,020
セグメント利益	793	370	457	1,621	—	1,621

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,978	9,900	981	56,861	—	56,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	72	32	127	△127	—
計	46,001	9,973	1,014	56,988	△127	56,861
セグメント利益	2,319	286	472	3,078	—	3,078

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。